

当センターでの超音波（エコー）検査 の実施状況について

社団法人 上越医師会
上越地域総合健康管理センター

第一事業部 職域健診課

阿部 彰
石川 裕美子
藤田 佐保
松枝 愛実香

超音波検査とは？

- 超音波の反射により得られた画像から各臓器の病変の有無を観察、記録する。
- 3MHz～15MHz(300万Hz～1500万Hz)程度の高い周波数を使用。

検査に適している部位

- 上腹部（肝臓、胆嚢、膵臓、脾臓、腎臓など）
- 下腹部（子宮、卵巣、前立腺、膀胱など）
- 乳腺、甲状腺など
- 心臓、血管などの循環器系、その他

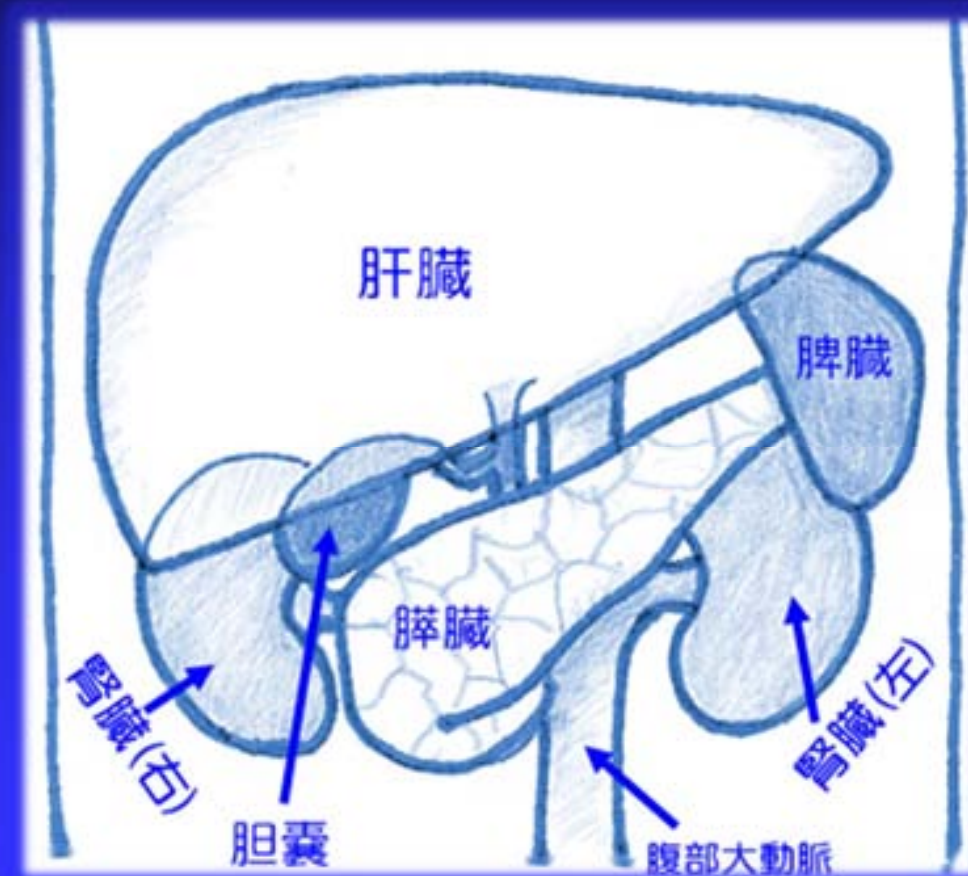
検査不適(苦手な)部位

- 胃、腸管、肺などの空気がある臓器
- 骨などの固い部位

当センターで現在行っている エコー検査

- 腹部エコー(上腹部)
- 乳腺エコー
- 頸動脈エコー

腹部エコーで検査している臓器



- 肝臓、胆嚢、膵臓、脾臓、腎臓、腹部大動脈、その他

検査装置



実際の検査方法

- ベッドに仰臥位で寝て、腹部を広く出す。
- おなかにゼリーをつけてプローブをあてて検査を行う。
- 各臓器の病変の有無を観察・記録。
- 検査時間は7～10分程度。

実際の検査方法



実際の画像 ① (肝臓、膵臓)



実際の画像 ② (胆嚢、肝臓)



実際の画像 ③ (脾臓)



実際の画像 ④ (腎臓)



実際の画像 ⑤ (腎臓)



実際の画像 ⑥ (腹部大動脈)

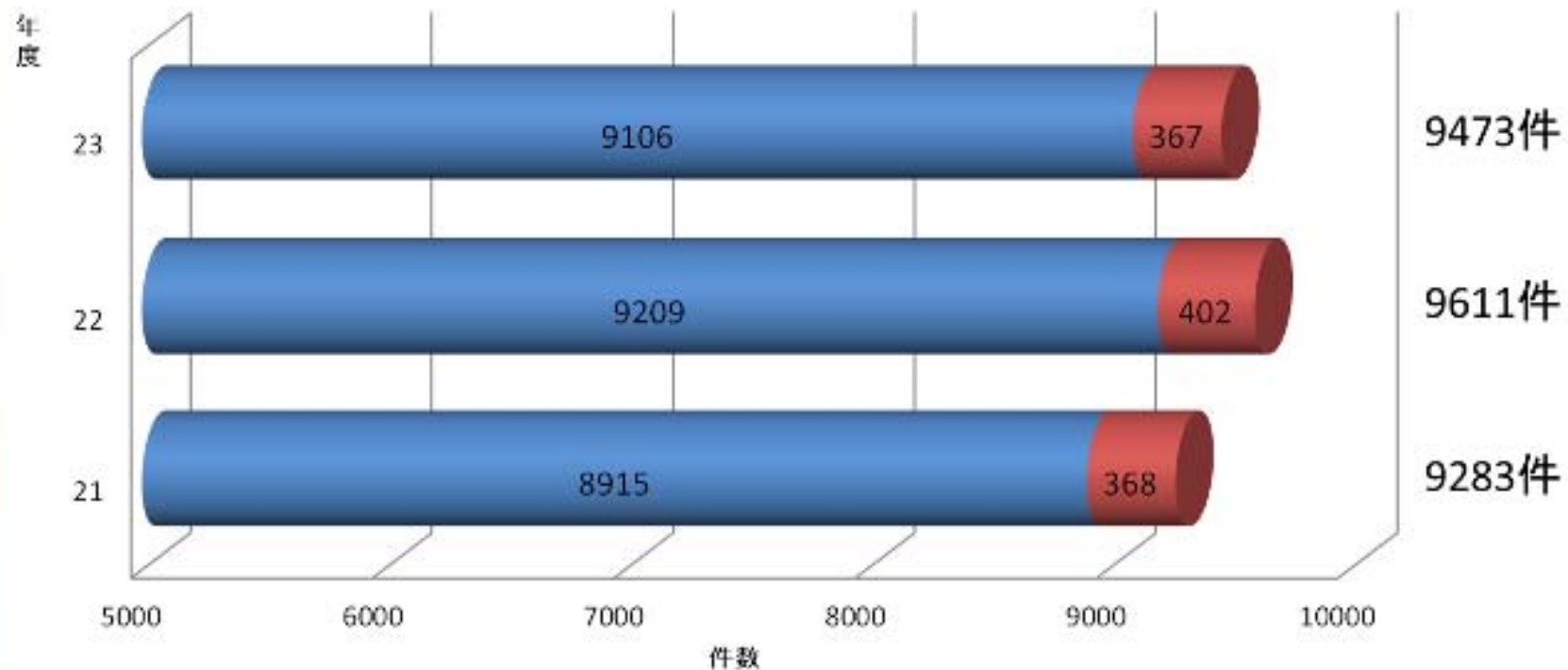


当センターでの実績

年度別の腹部エコー実施件数

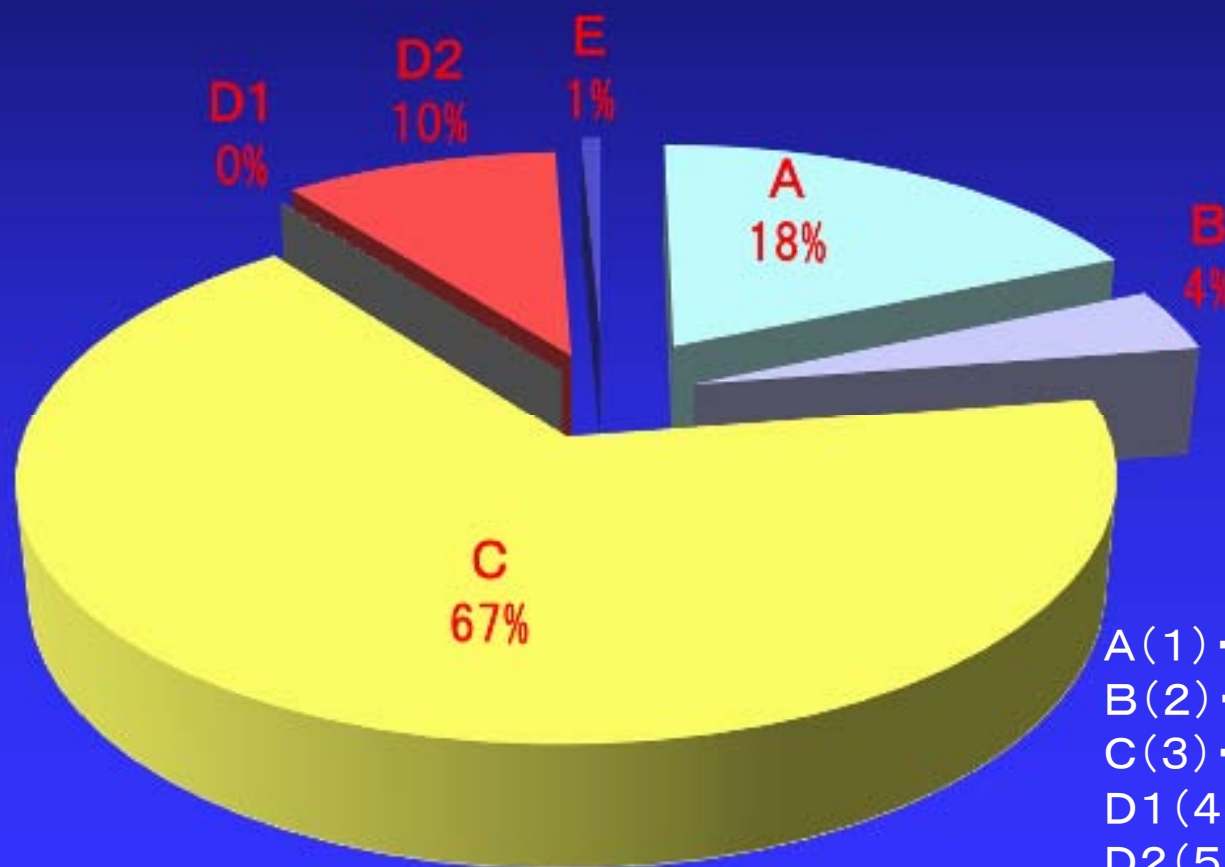
健診種別件数

■ドック ■定・生



腹部エコー結果判定の比率

23年度判定内訳



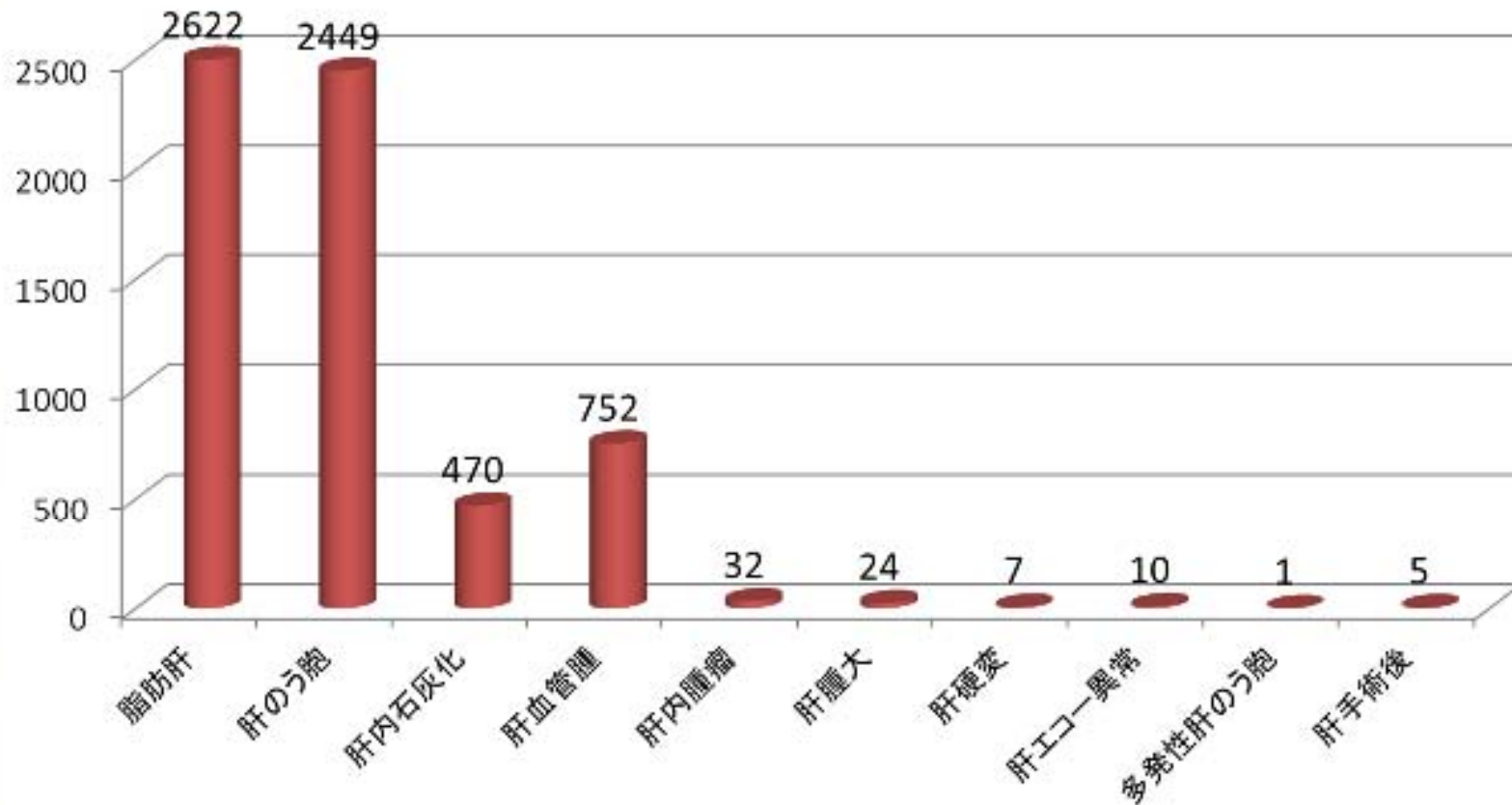
- A(1).....異常なし
- B(2).....ほぼ正常
- C(3).....要経過観察
- D1(4)....要医療
- D2(5)....要精密検査
- E(6).....治療中

見つかる疾患

部位	疾患名
肝臓	肝のう胞、肝血管腫、脂肪肝、肝硬変、腫瘍……
胆嚢	胆石、ポリープ、胆のう炎……
膵臓	膵のう胞、膵石、膵炎、腫瘍……
腎臓	腎のう胞、腎結石、尿管結石、水腎症、腫瘍……
大動脈	大動脈石灰化、腹部大動脈瘤……

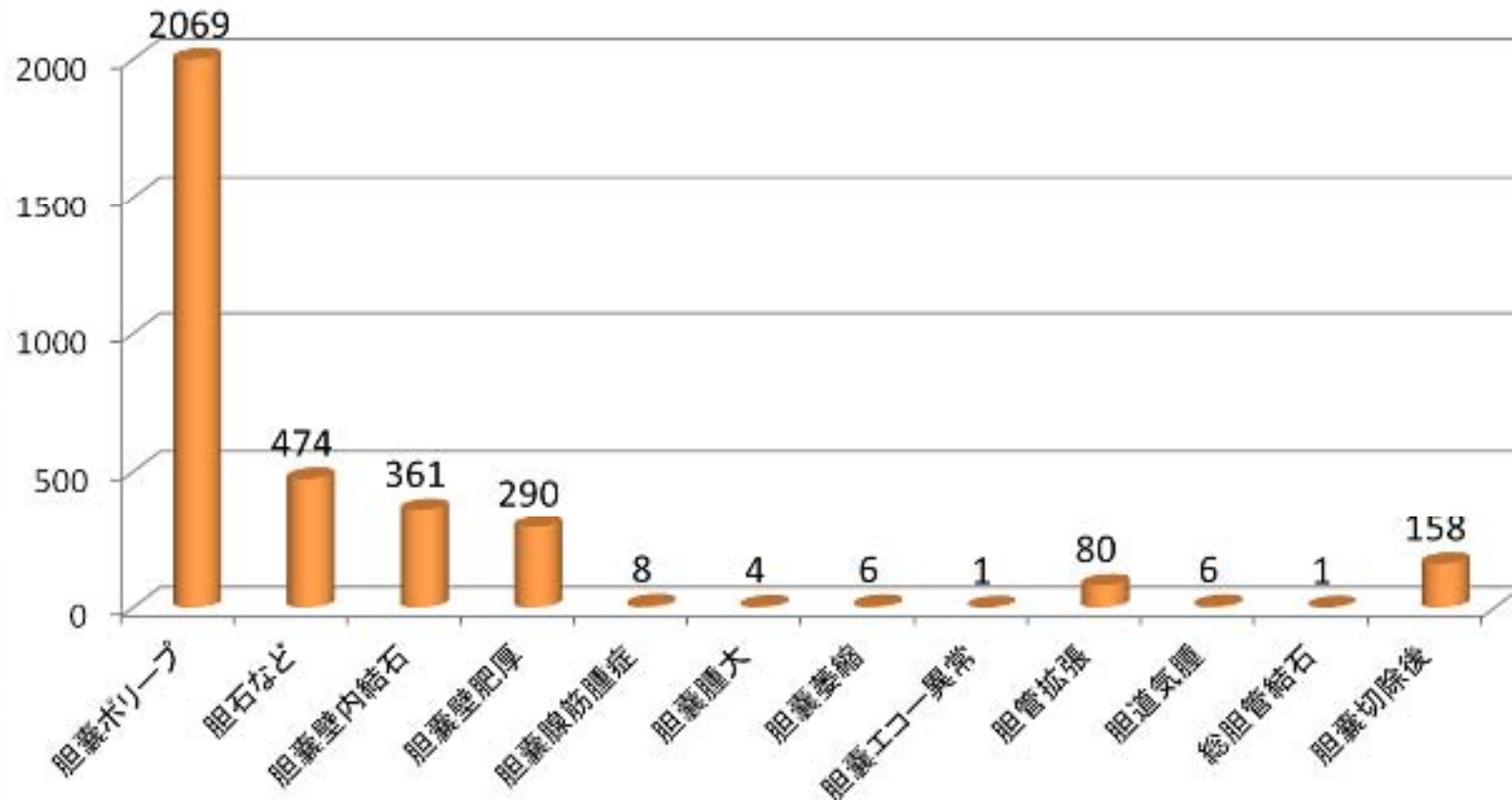
臓器別での所見の種類

肝臓所見



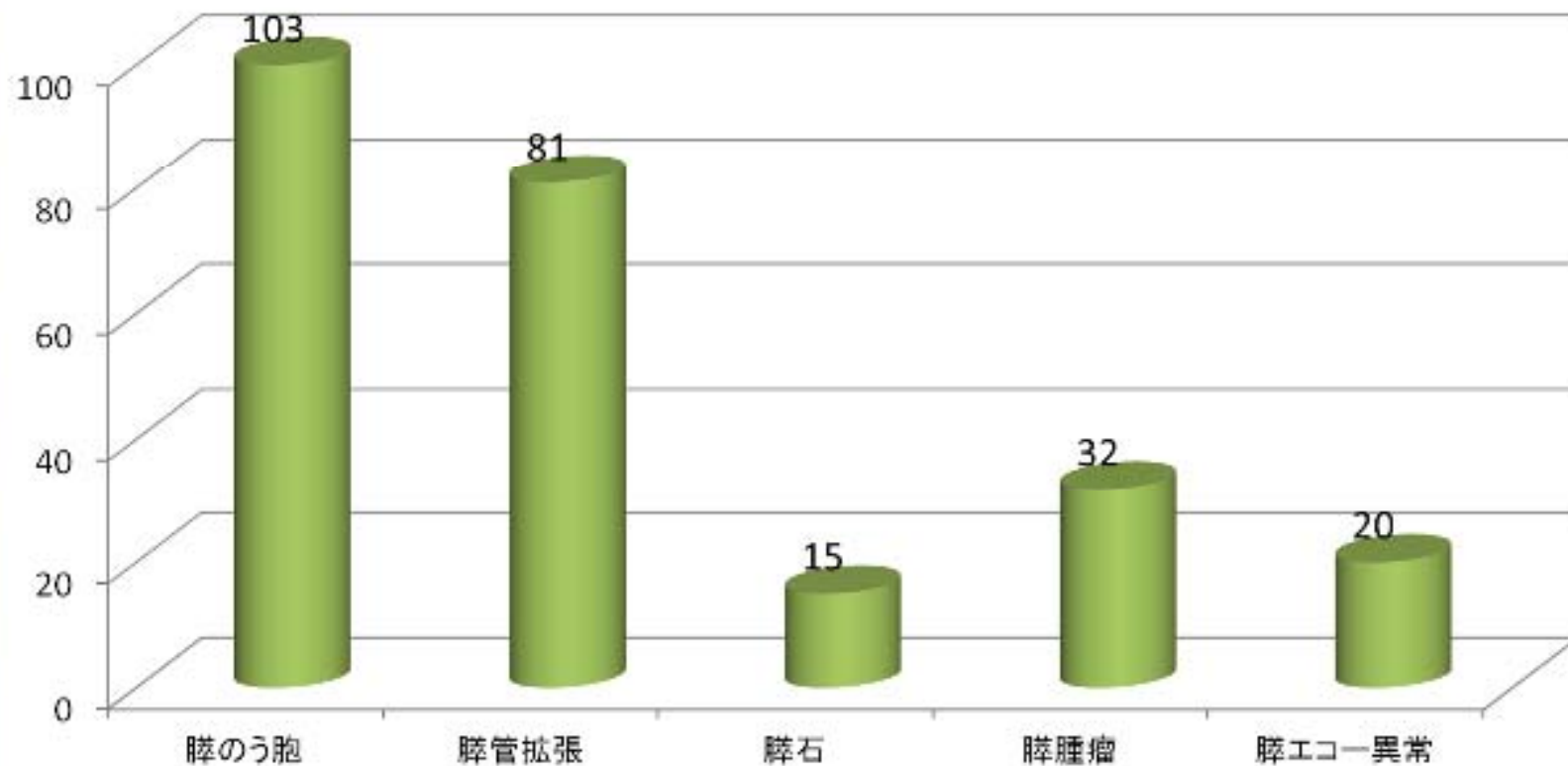
臓器別での所見の種類

胆嚢所見



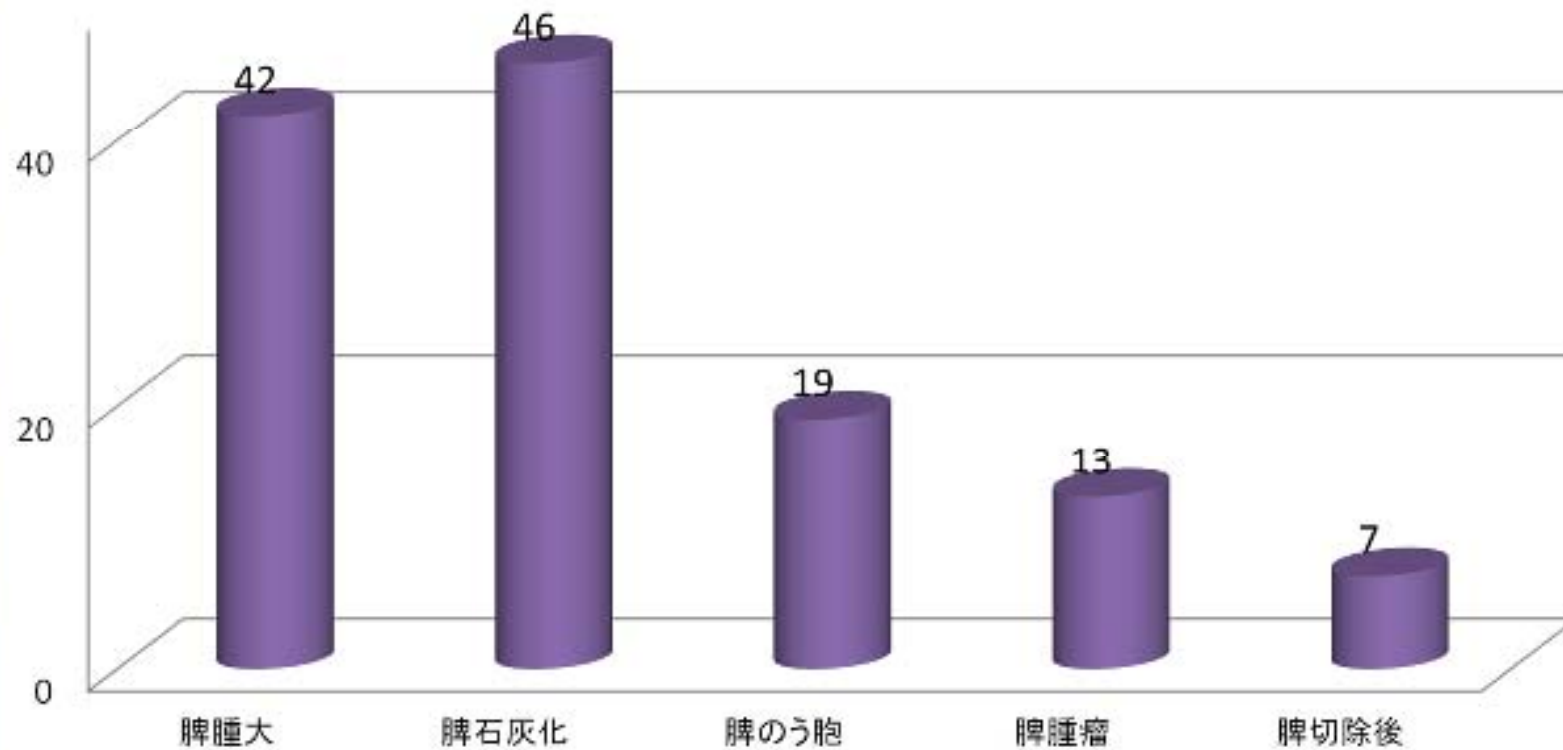
臓器別での所見の種類

膵臓所見



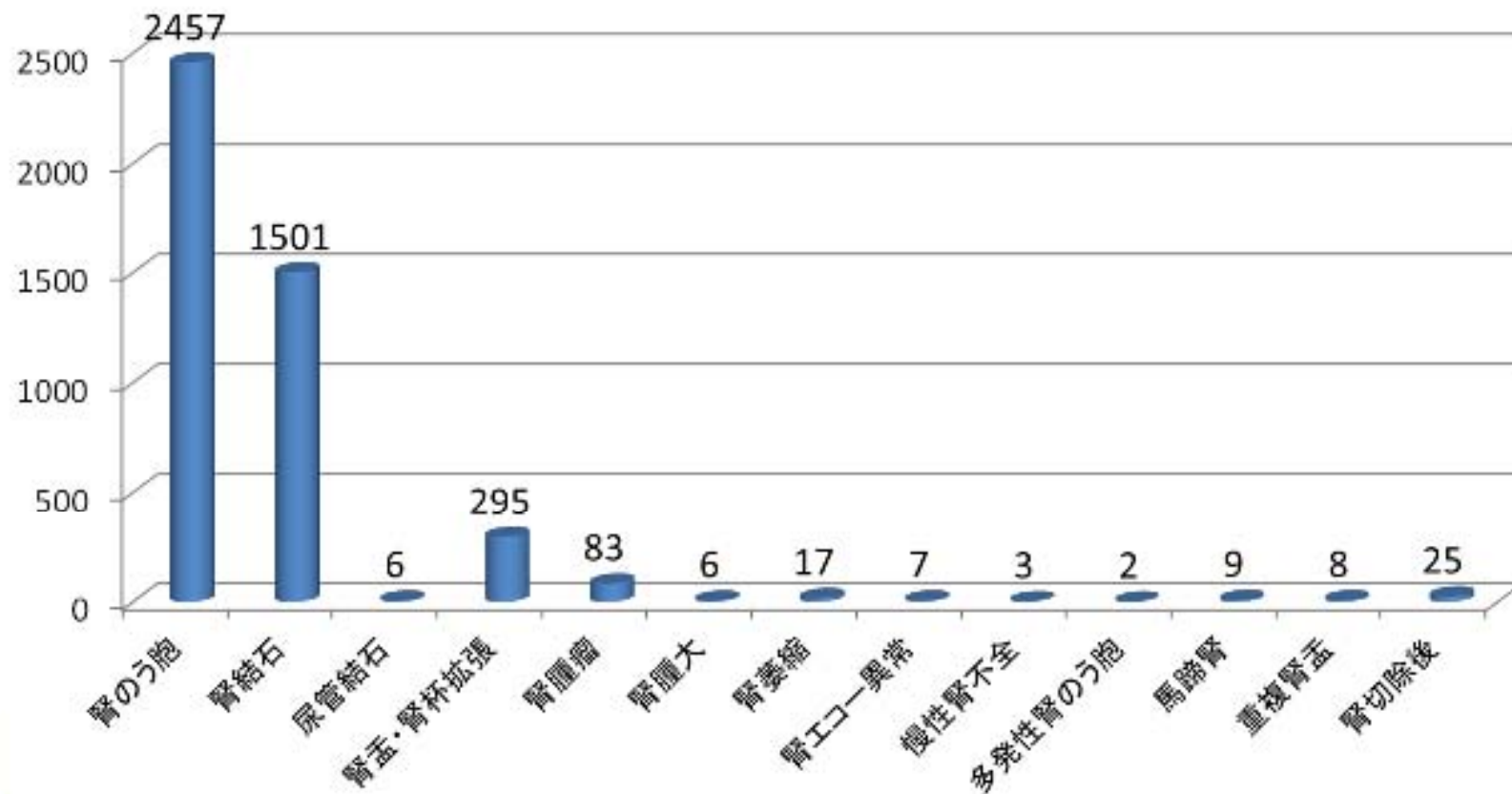
臓器別での所見の種類

脾臓所見



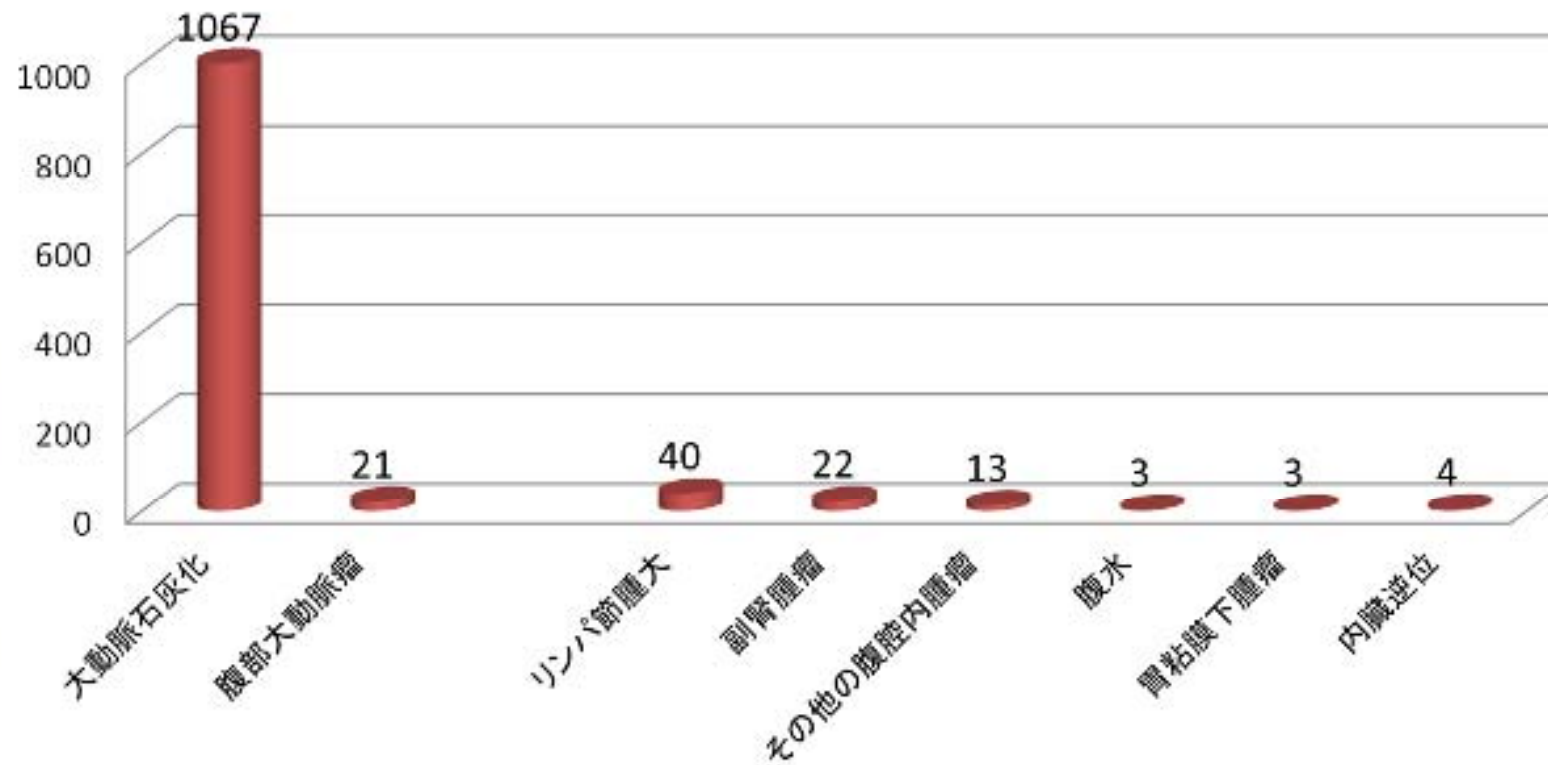
臓器別での所見の種類

腎臓所見



臓器別での所見の種類

血管系・その他の所見

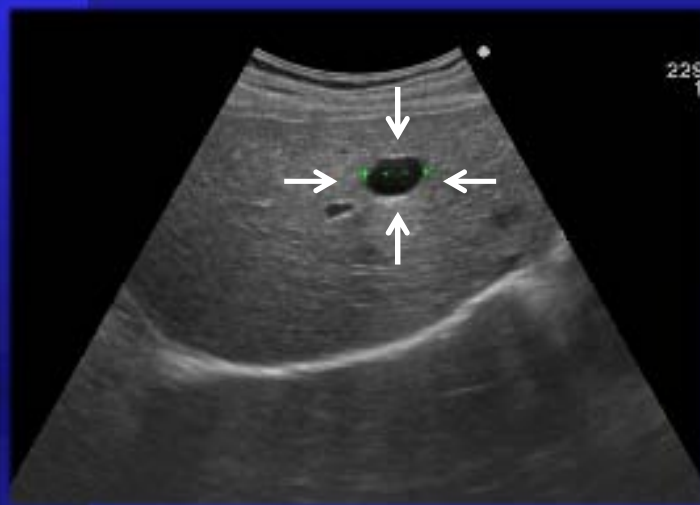


これまでに確認されたがん件数

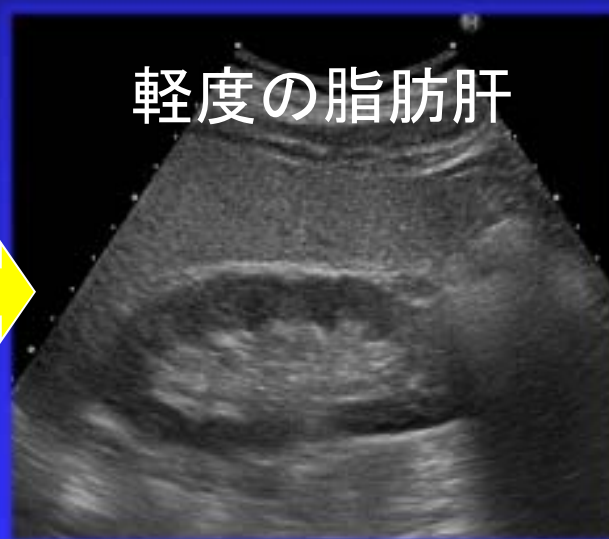
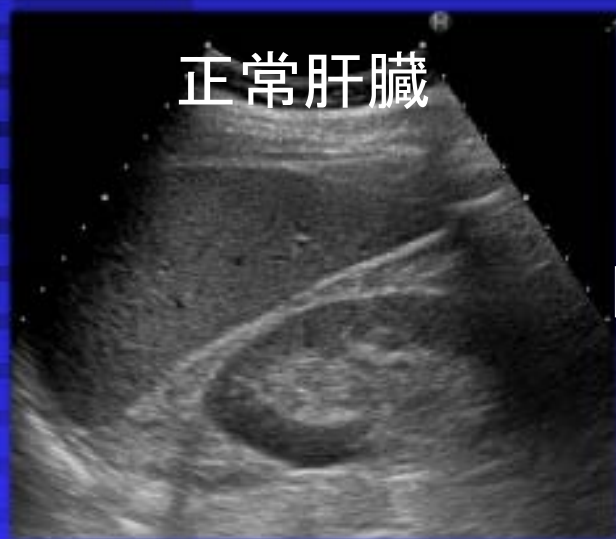
症 例	件数
腎細胞癌	11
肝臓癌	4
膵臓癌	4
胆嚢癌	2
悪性リンパ腫	2
膀胱癌	2
副腎褐色細胞腫	1

実際の症例

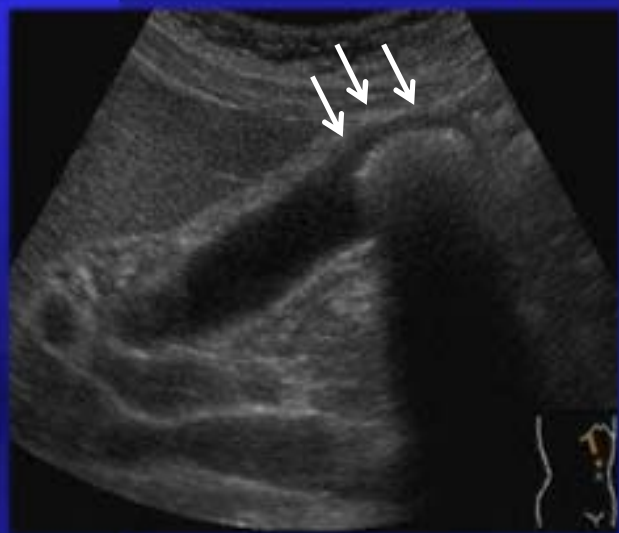
症例 ① (肝のう胞、肝血管腫)



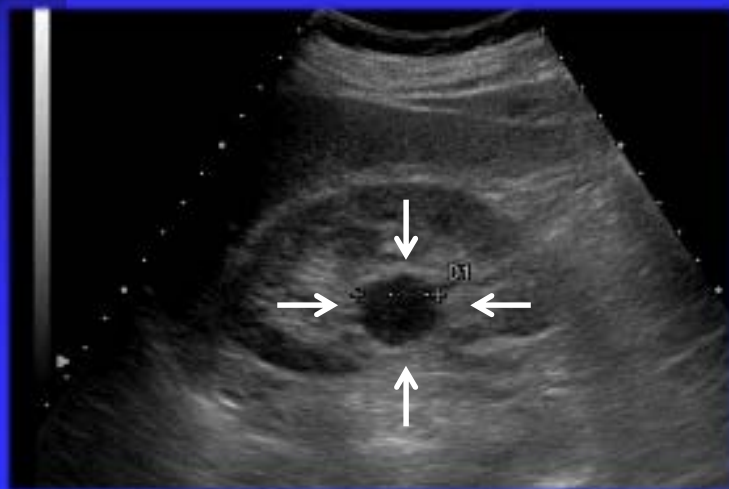
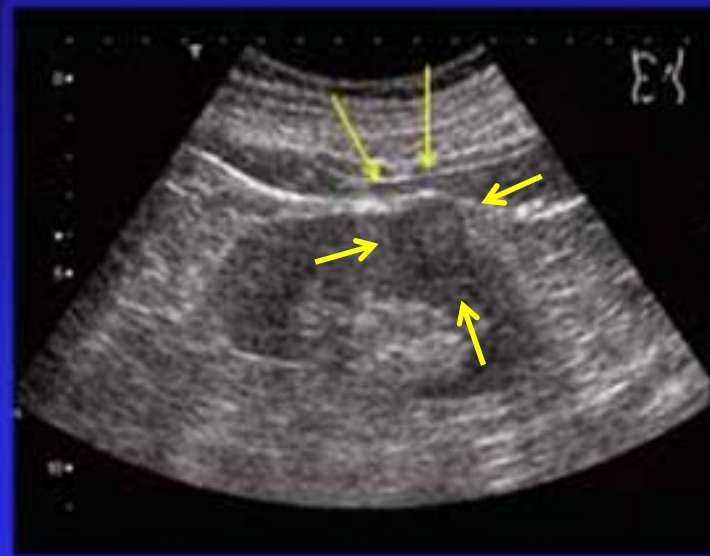
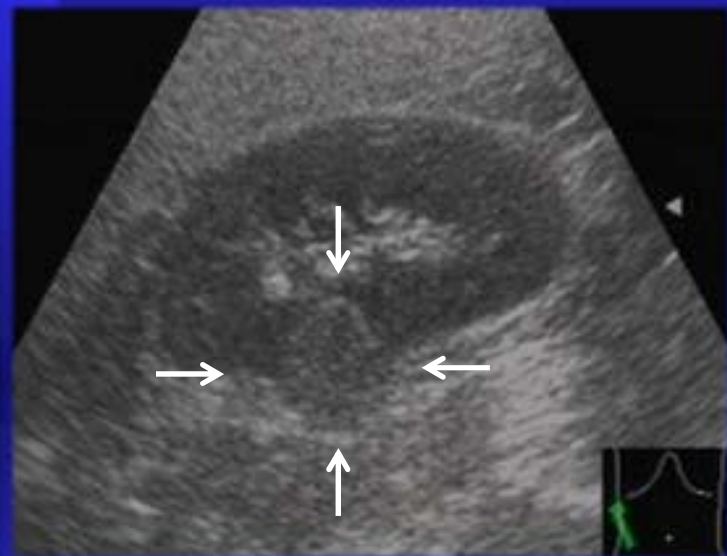
症例 ② (脂肪肝)



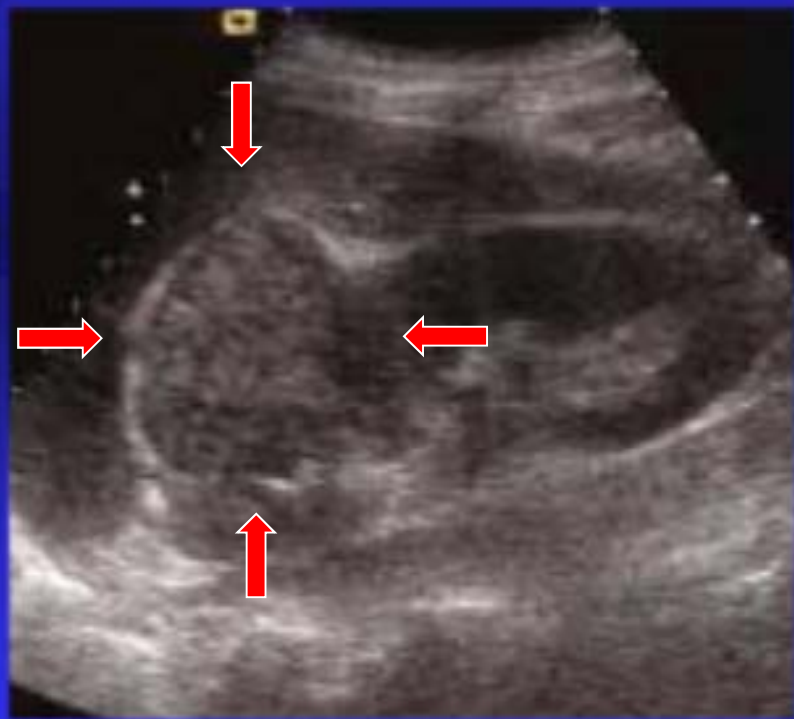
病例 ③ (胆石)



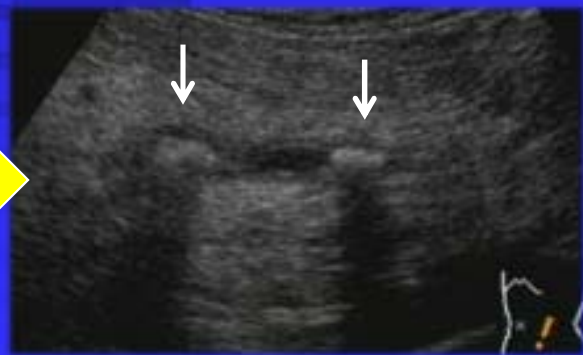
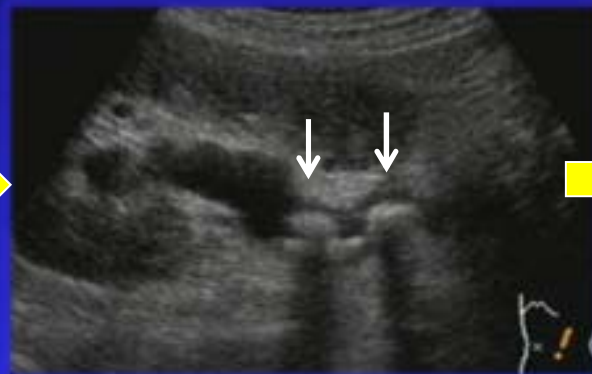
症例 ④ (腎細胞がん)



症例 ⑤ (腎細胞がん)



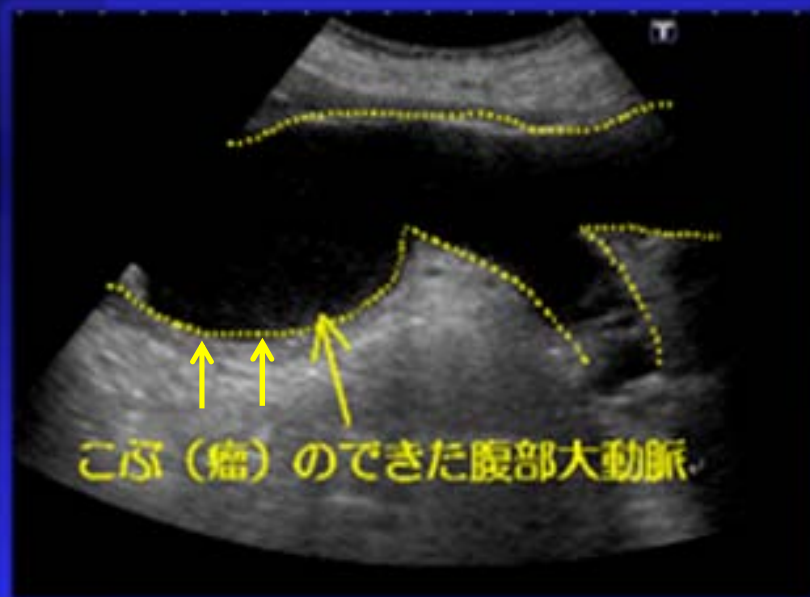
症例 ⑥ (腎結石)



症例 ⑦ (腹部大動脈瘤)



症例 ⑧ (腹部大動脈瘤)



最後に

- 検査機器の性能向上により、以前に比べ描出可能な臓器が増え、多様な疾患を発見することが可能となりました。
- 病気の早期発見のために侵襲性の少ないエコー検査の経年受診をお勧めします。